

東洋炭素株式会社

2026年12月期第2四半期 決算説明資料

2026年8月20日

東洋炭素株式会社

2026年12月期第2四半期 決算概要

1. 2026年12月期第2四半期 業績

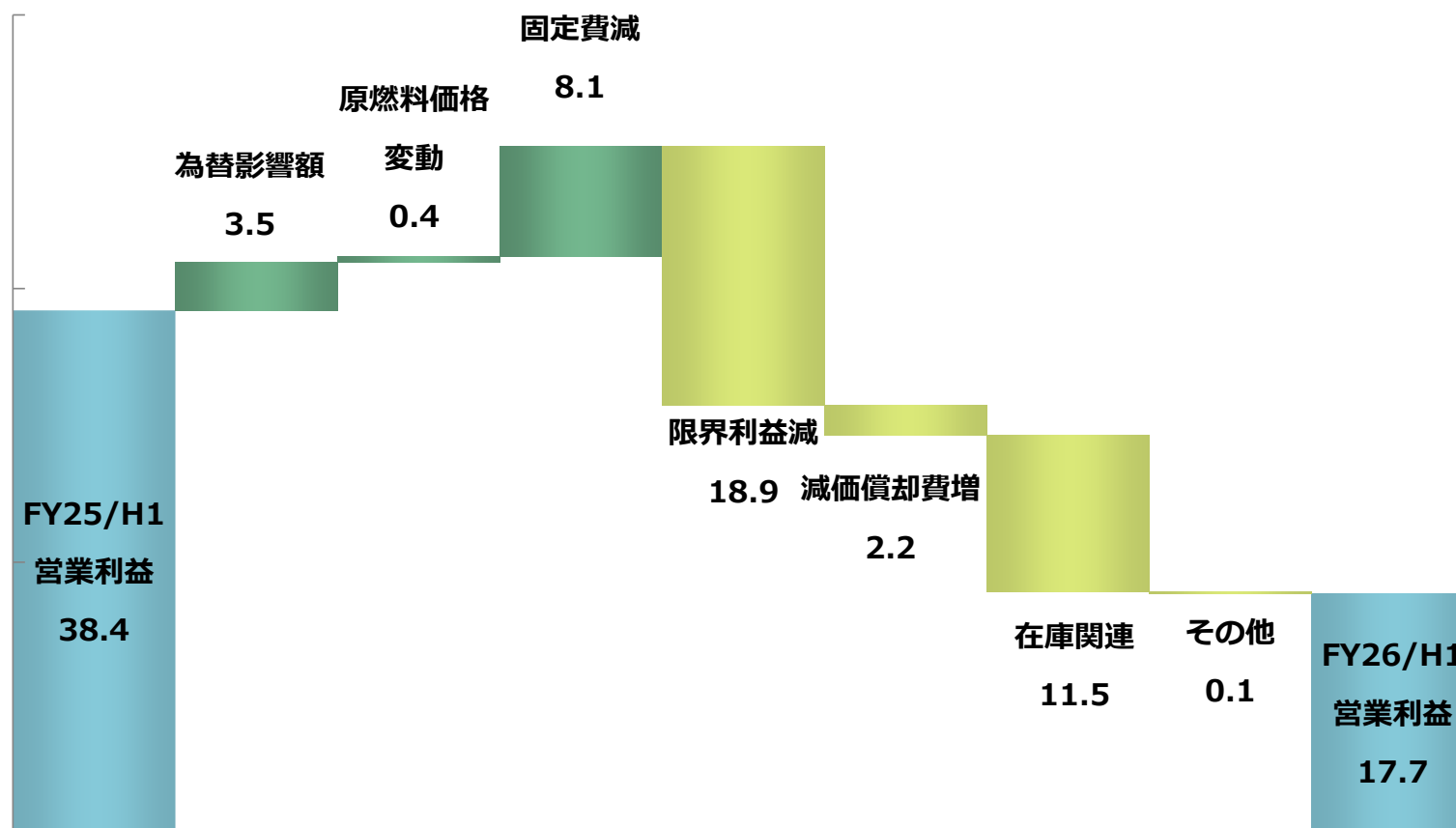
	FY2025/H1	FY2026/H1			
(単位：百万円)		(F)	(A)	前年同期比	予想比
売上高	22,980	22,500	22,370	▲ 609 / ▲ 2.7 %	▲ 129 / ▲ 0.6 %
営業利益	3,840	2,600	1,778	▲ 2,062 / ▲ 53.7 %	▲ 821 / ▲ 31.6 %
(売上高営業利益率)	16.7%	11.6%	7.9%		
経常利益	3,789	2,500	2,229	▲ 1,560 / ▲ 41.2 %	▲ 270 / ▲ 10.8 %
(売上高経常利益率)	16.5%	11.1%	10.0%		
親会社株主に 帰属する 中間純利益	2,681	2,300	1,677	▲ 1,003 / ▲ 37.4 %	▲ 622 / ▲ 27.1 %
1株当たり 中間純利益	127円85銭	109円67銭	80円00銭		
為替レート	148.6円/\$ 162.2円/€ 20.5円/人民元	145円/\$ 176円/€ 20円/人民元	158.2円/\$ 184.5円/€ 23.1円/人民元		

2. 営業利益増減要因

(2025年12月期H1 vs 2026年12月期H1)

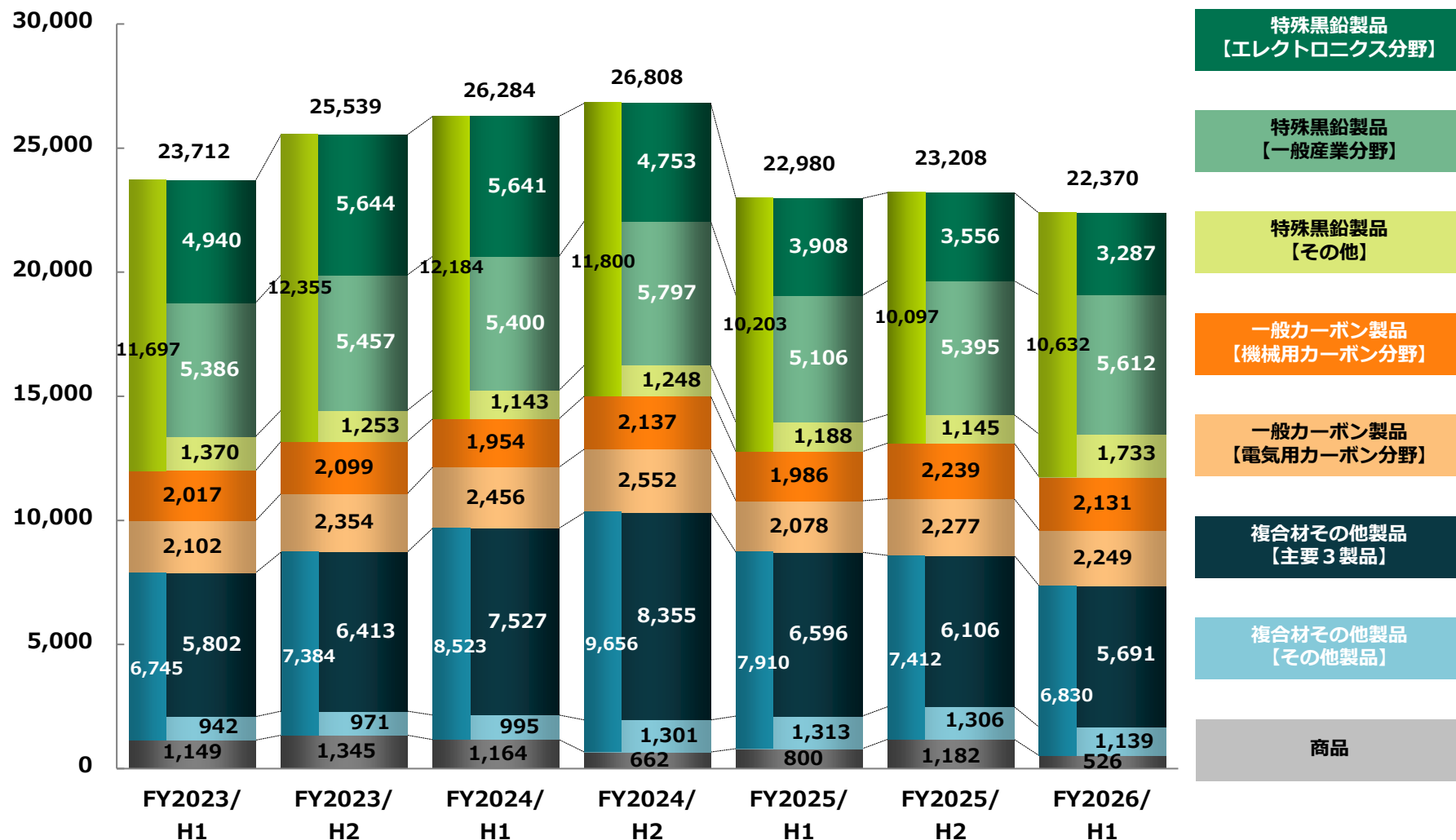
✓ 主に販売構成差による限界利益の減少や在庫未実現利益の計上により▲53.7%

(単位：億円)



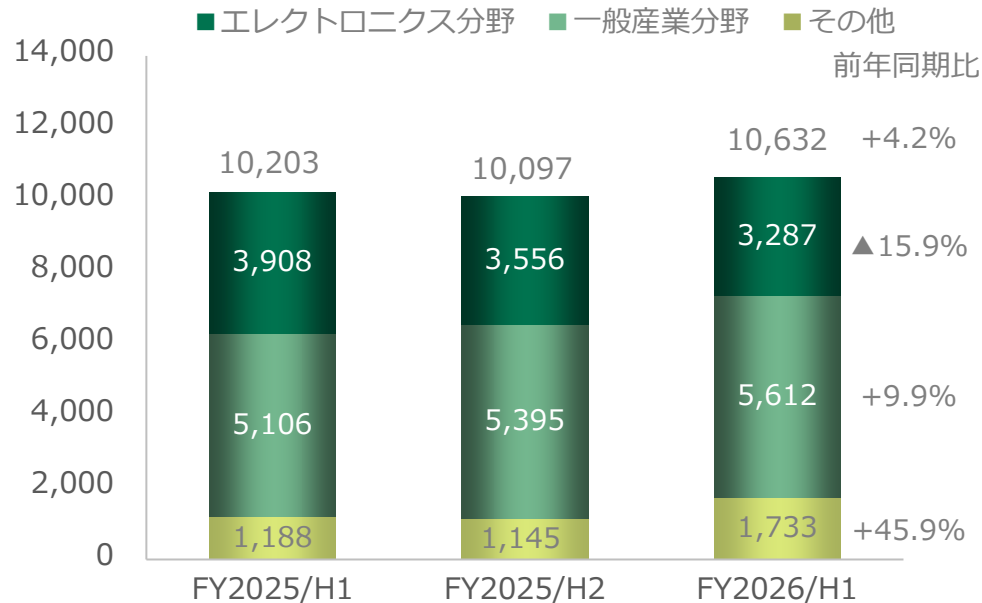
3. 製品・分野別売上高

(単位：百万円)

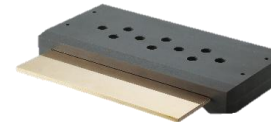


3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



連続 casting 用ダイス



単結晶シリコン製造装置



SiC結晶成長部材



放電加工電極

【エレクトロニクス分野】

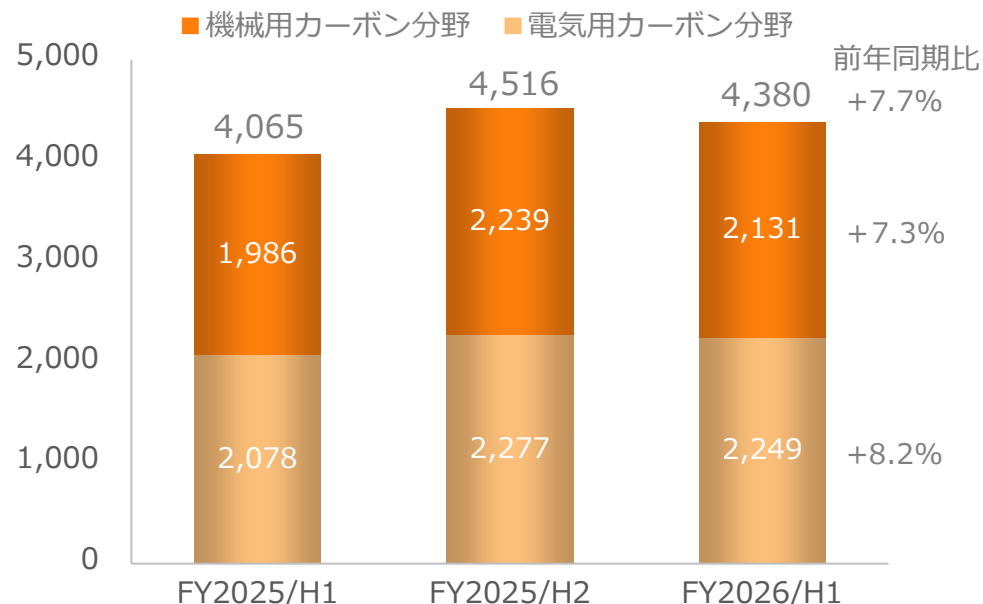
- ・ 半導体デバイス関連製造部材が大幅に減少した他、ウエハー在庫の調整継続等によりSiC半導体向けの化合物半導体製造用や単結晶シリコン製造用がやや減少し、前年同期比減。

【一般産業分野】

- ・ 自動車関連産業の稼働や企業の設備投資の底堅さを背景に、連続 casting 用や工業炉用等の冶金用が堅調に推移し、前年同期比増。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

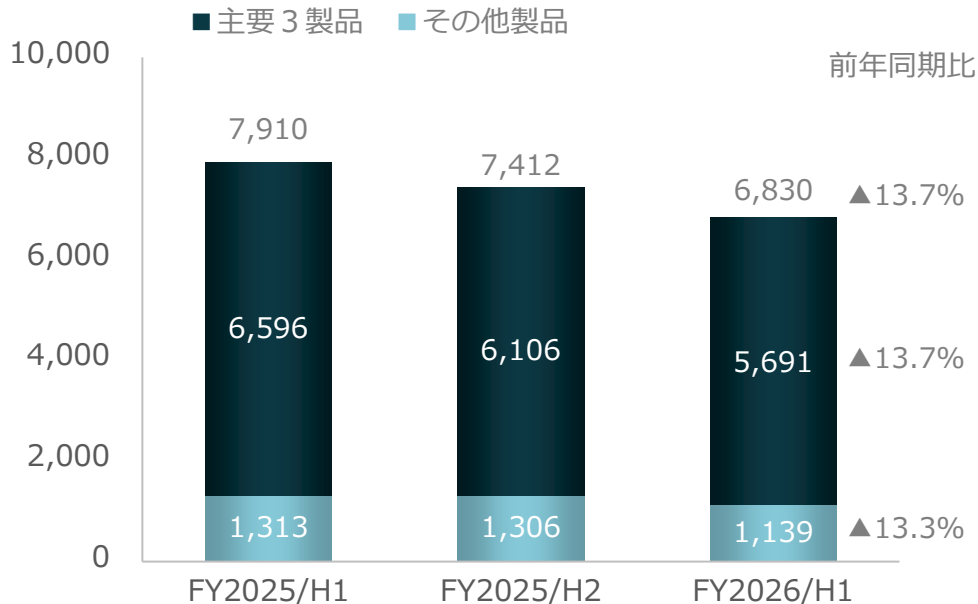
- ・ シールリングや軸受の需要堅調で、前年同期比増。

【電気用カーボン分野】

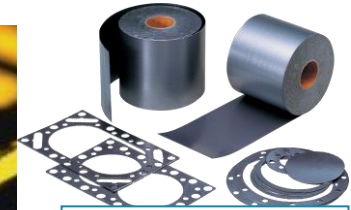
- ・ 家電・電動工具向け小型モーター用の需要増および大型モーター用の堅調な需要により、前年同期比増。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

(単位：百万円)



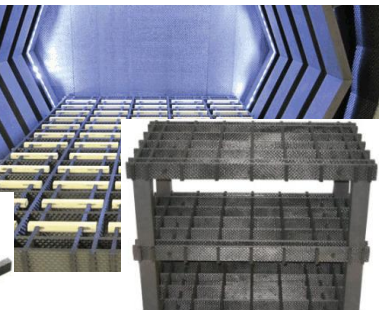
MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)



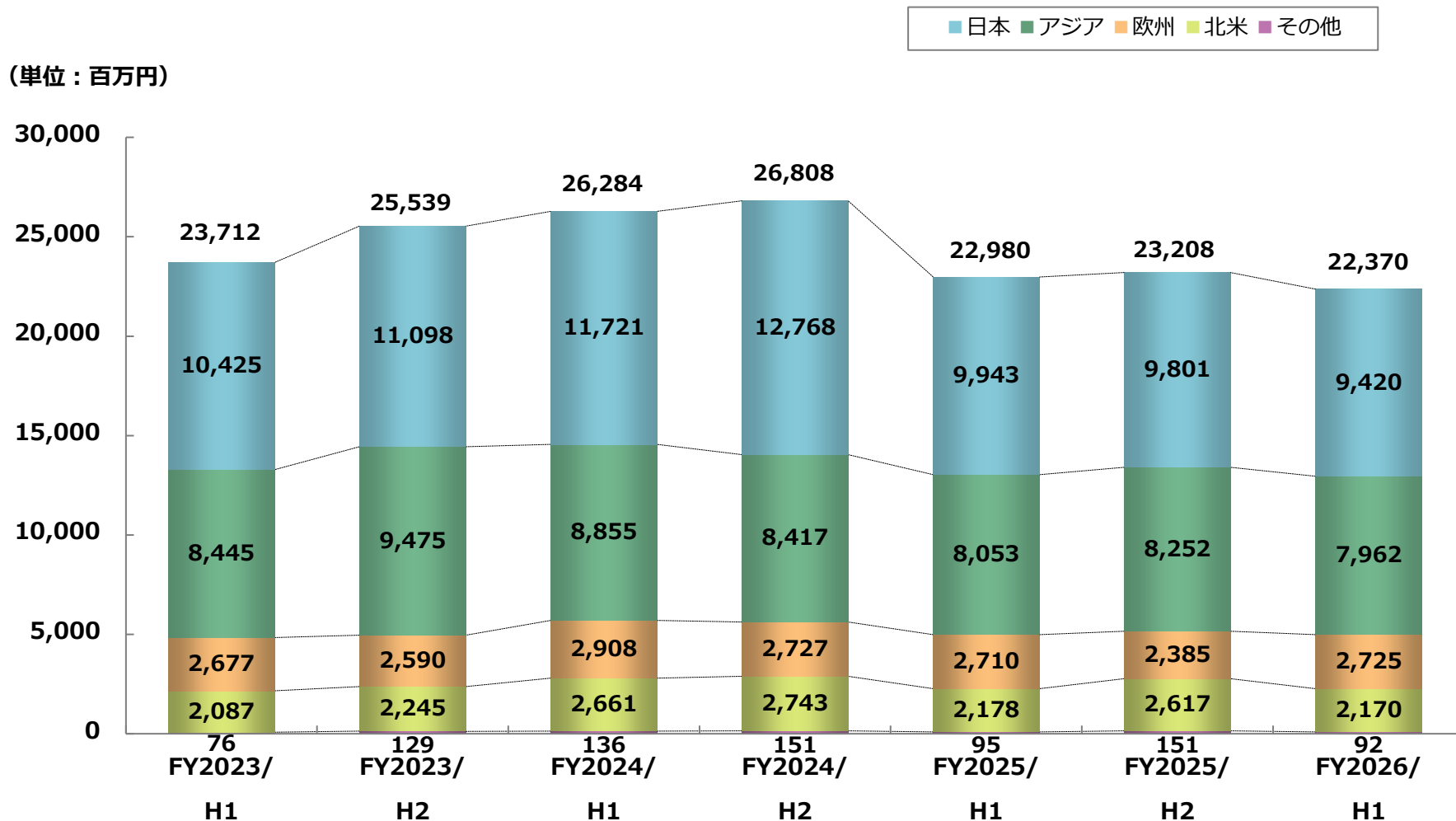
三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)

【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品は、生成AI用の最先端品向けを中心としたSiエピタキシャル用途の需要は堅調も、SiCエピタキシャル用途の大幅減に加え、前期前倒しの反動もあり、前年同期比減。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用や半導体用が堅調で、前年同期比増。
- ・ 黒鉛シート製品は、半導体用は弱含むも、自動車用・冶金用の増加により、前年同期比増。

4. 地域別売上高

✓ 半導体用の販売減を主因に日本およびアジアは前年同期比減



5. 2026年12月期第2四半期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)			連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	2025/6E	2025/12E	2026/6E		FY2025/H1	FY2026/H1
資産合計	109,622	117,916	119,594	現金及び現金同等物 の期首残高	14,652	12,069
受取手形及び売掛金	15,033	15,945	15,604	現金及び現金同等物 の増減額	▲ 4,699	6
棚卸資産	28,847	30,195	30,995	現金及び現金同等物 の中間期末残高	9,953	12,076
有形固定資産	45,448	48,101	49,290	営業活動によるCF	2,809	7,974
負債・純資産合計	109,622	117,916	119,594	投資活動によるCF	▲ 7,826	▲ 4,873
有利子負債	3,612	5,676	5,331	財務活動によるCF	456	▲ 3,456
資本金	7,947	7,947	7,947			
純資産	92,473	97,551	97,623			
自己資本比率	84.3%	82.7%	81.6%			

2026年12月期業績予想

■ 半導体用途関連の市場環境

- ・ AI関連の幅広い分野（GPU・メモリー・パワー半導体等）で需要拡大が見込まれる
- ・ エネルギー価格高騰の影響で、EVの需要は緩やかな回復基調に

▷ シリコン半導体用途

- ・ ウエハーの在庫調整一巡にともない、期初想定どおり下期より本格回復の見込み
- ・ 単結晶シリコン製造用（特殊黒鉛製品エレクトロニクス分野）やSiエピタキシャル用途（複合材SiCコーティング黒鉛製品）の受注はQ1より徐々に回復

▷ SiC半導体用途

- ・ EVの需要回復やAIデータセンター向けの需要増加を受け、市場は今後徐々に回復の見込み
- ・ 当社においては、SiCエピタキシャル用途（複合材SiCコーティング黒鉛製品）を中心に、極めて緩やかではあるものの受注は改善傾向に

■ 中東情勢の影響

- ・ 原油価格上昇の影響による製造コスト等の上昇を吸収するべく、2026年10月度ご注文分より価格改定予定

▶ 2026年12月期業績予想

- ・ 限界利益の大幅改善を見込む一方、原燃料価格動向や為替動向等の不確定要素あり、業績予想は据え置き
- ・ 製品・分野別の販売計画は、上期実績および足元の需要動向等を勘案し再編成

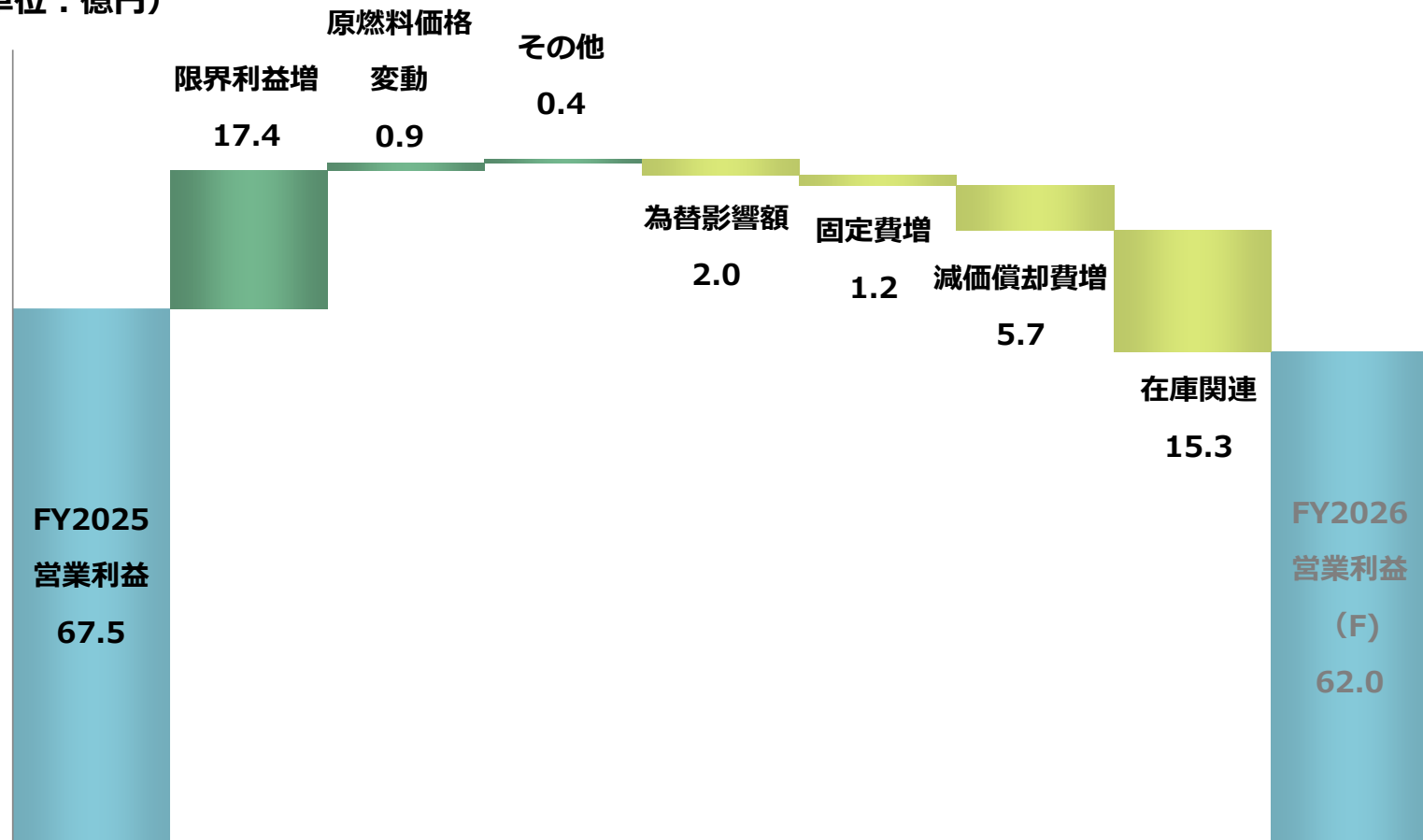
2. 2026年12月期業績予想

(単位：百万円)	FY2025			FY2026			
		内訳		(F)	内訳		前期比
売上高	46,189	H1	22,980	49,000	H1 (A)	22,370	+ 2,810 / + 6.1 %
		H2	23,208		H2 (F)	26,629	
営業利益	6,759	H1	3,840	6,200	H1 (A)	1,778	▲ 559 / ▲ 8.3 %
		H2	2,918		H2 (F)	4,421	
(売上高営業利益率)	14.6%			12.7%			
経常利益	8,091	H1	3,789	6,000	H1 (A)	2,229	▲ 2,091 / ▲ 25.8 %
		H2	4,301		H2 (F)	3,770	
(売上高経常利益率)	17.5%			12.2%			
親会社株主に帰属する当期純利益	5,464	H1	2,681	5,000	H1 (A)	1,677	▲ 464 / ▲ 8.5 %
		H2	2,783		H2 (F)	3,322	
1株当たり当期純利益	260円58銭	H1	127円85銭	238円41銭	H1 (A)	80円00銭	
		H2	132円73銭		H2 (F)	158円41銭	
ROE	5.7%			5.1%			
為替レート	149.7円/\$ 169.0円/€ 20.8円/人民元			(H2前提) 145円/\$ 176円/€ 20円/人民元			

3. 営業利益増減要因 (2025年12月期 vs 2026年12月期)

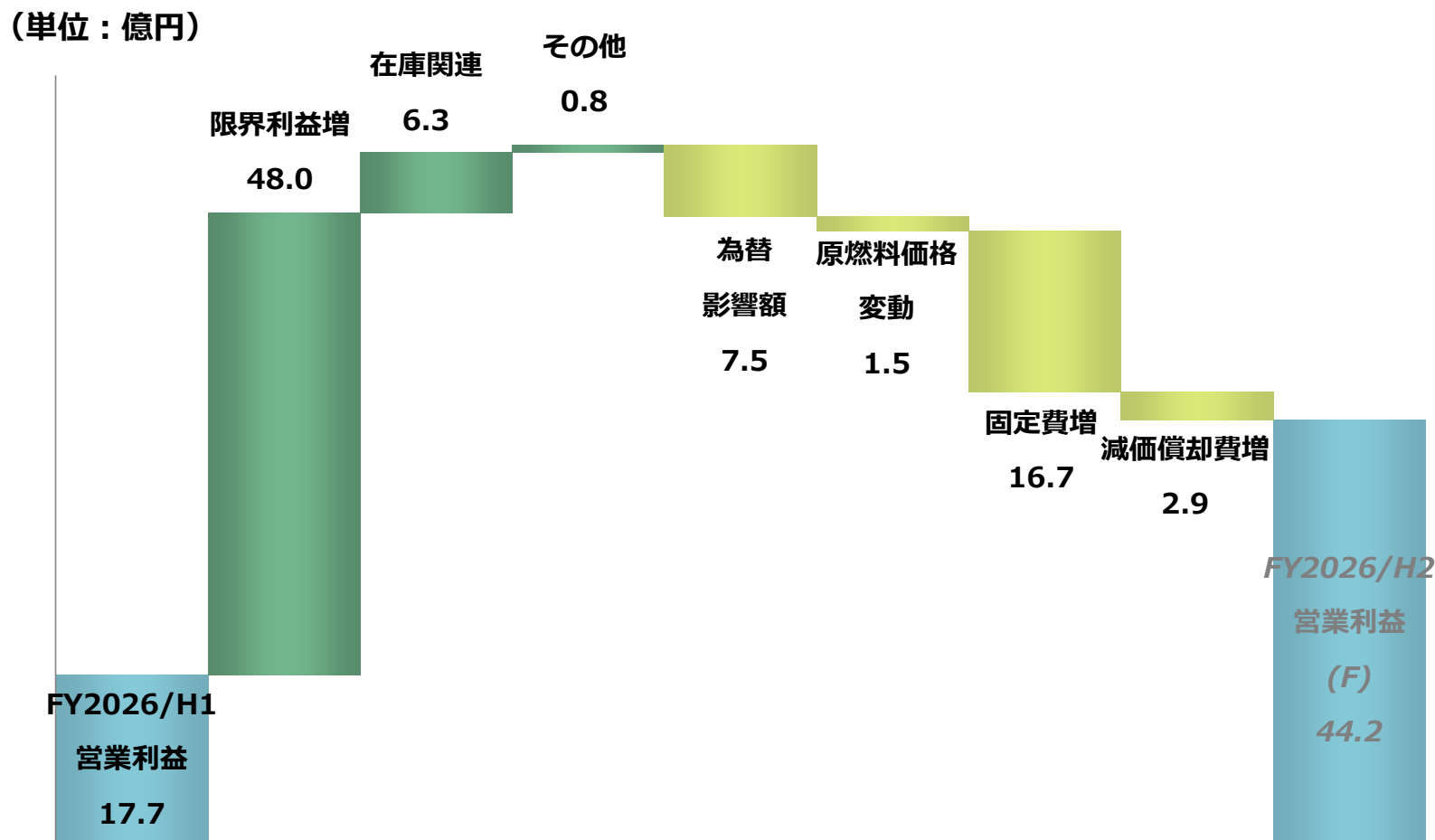
✓ 売上増加にともない限界利益増も、減価償却費増と在庫影響により▲8.3%

(単位：億円)



3. 営業利益増減要因 (2026年12月期H1 vs H2)

- ✓ 半導体用途の需要回復にともなう数量および製品構成の改善で限界利益が増加
営業利益は大幅回復の見込み



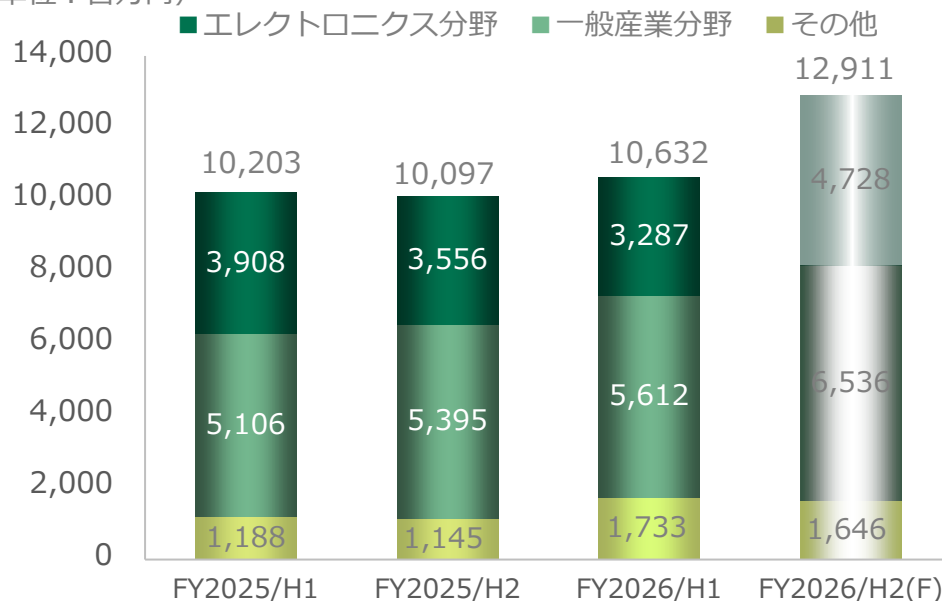
4. 製品・分野別売上高

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2025			FY2026								
	H 1	H 2	通期	H 1	YoY	期初 予想比	H 2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
特殊黒鉛製品	10,203	10,097	20,300	10,632	+4.2%	▲7.4%	12,911	+27.9%	+1.9%	23,544	+16.0%	▲2.5%
エレクトロニクス分野	3,908	3,556	7,465	3,287	▲15.9%	▲22.5%	4,728	+33.0%	▲8.1%	8,016	+7.4%	▲14.6%
一般産業分野	5,106	5,395	10,501	5,612	+9.9%	▲3.3%	6,536	+21.1%	+6.1%	12,148	+15.7%	+1.5%
その他	1,188	1,145	2,333	1,733	+45.9%	+20.6%	1,646	+43.7%	+20.5%	3,379	+44.8%	+20.6%
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	1,986	2,239	4,226	2,131	+7.3%	+10.5%	2,261	+1.0%	+5.0%	4,392	+3.9%	+7.6%
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	2,078	2,277	4,356	2,249	+8.2%	+2.9%	2,281	+0.2%	▲0.6%	4,530	+4.0%	+1.1%
複合材その他製品	7,910	7,412	15,322	6,830	▲13.7%	+7.1%	8,555	+15.4%	▲1.1%	15,385	+0.4%	+2.4%
主要 3 製品	6,596	6,106	12,702	5,691	▲13.7%	+6.2%	7,306	+19.7%	▲1.9%	12,997	+2.3%	+1.5%
その他製品	1,313	1,306	2,619	1,139	▲13.3%	+11.7%	1,248	▲4.4%	+3.3%	2,387	▲8.9%	+7.2%
商品	800	1,182	1,983	526	▲34.2%	▲0.1%	619	▲47.6%	▲14.1%	1,146	▲42.2%	▲8.2%
合計	22,980	23,208	46,189	22,370	▲2.7%	▲0.6%	26,629	+14.7%	+0.5%	49,000	+6.1%	0.0%

4. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2025			FY2026								
	H 1	H 2	通期	H 1	YoY	期初 予想比	H 2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
特殊黒鉛製品	10,203	10,097	20,300	10,632	+4.2%	▲7.4%	12,911	+27.9%	+1.9%	23,544	+16.0%	▲2.5%
エレクトロニクス分野	3,908	3,556	7,465	3,287	▲15.9%	▲22.5%	4,728	+33.0%	▲8.1%	8,016	+7.4%	▲14.6%
一般産業分野	5,106	5,395	10,501	5,612	+9.9%	▲3.3%	6,536	+21.1%	+6.1%	12,148	+15.7%	+1.5%
その他	1,188	1,145	2,333	1,733	+45.9%	+20.6%	1,646	+43.7%	+20.5%	3,379	+44.8%	+20.6%

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

- ・単結晶シリコン製造用は、期初想定どおり下期より本格回復の見込み。
- ・SiC半導体向けの化合物半導体製造用は、今期一杯調整継続の見込み。
- ・同分野における予想引き下げは、半導体デバイス関連製造部材の低調な需要が主因。

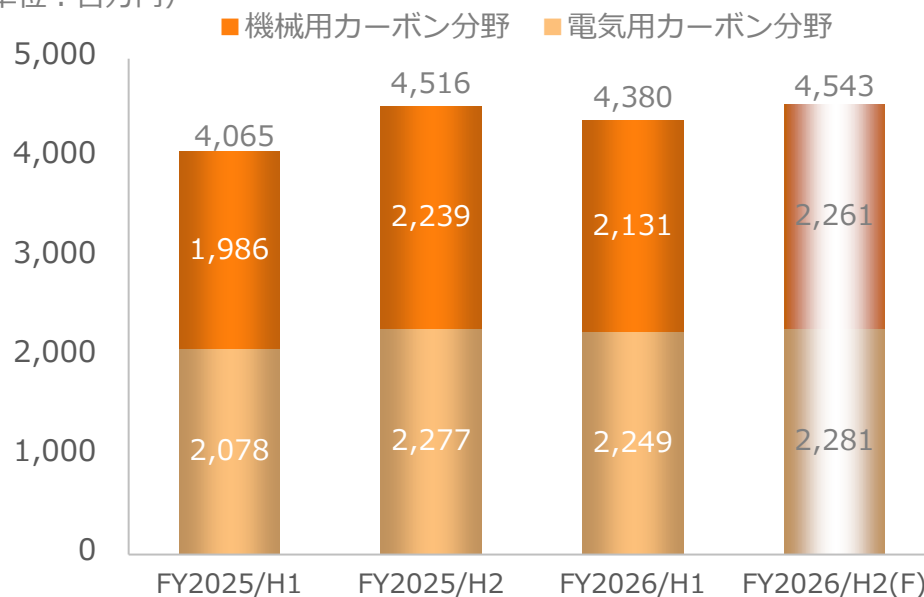
【一般産業分野】

- ・工業炉用や連続鋳造用等、安定した需要が継続し前期比増の見込み。

4. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2025			FY2026								
	H1	H2	通期	H1	YoY	期初 予想比	H2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
一般カーボン製品 (機械用カーボン分野)	1,986	2,239	4,226	2,131	+7.3%	+10.5%	2,261	+1.0%	+5.0%	4,392	+3.9%	+7.6%
一般カーボン製品 (電気用カーボン分野)	2,078	2,277	4,356	2,249	+8.2%	+2.9%	2,281	+0.2%	▲0.6%	4,530	+4.0%	+1.1%

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- ・軸受・シールリング・パンタグラフ用すり板とも需要は堅調で、概ね安定した水準で推移。

【電気用カーボン分野】

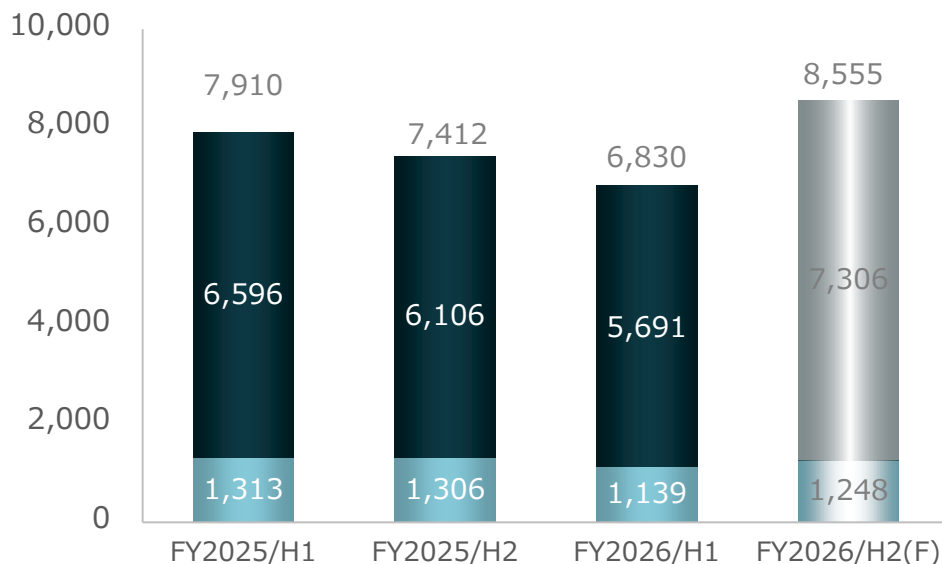
- ・家電・電動工具向け小型モーター用は、市況に大きな変化なく、前期並みの水準となる見込み。
- ・風力発電等の再生可能エネルギーや産業機器向けの大型モーター用は、営業体制強化し、市場開拓を進める。

4. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別 (単位：百万円)	FY2025			FY2026								
	H 1	H 2	通期	H 1	YoY	期初 予想比	H 2 (F)	YoY	期初 予想比	通期 (F)	YoY	期初 予想比
複合材その他製品	7,910	7,412	15,322	6,830	▲13.7%	+7.1%	8,555	+15.4%	▲1.1%	15,385	+0.4%	+2.4%
主要 3 製品	6,596	6,106	12,702	5,691	▲13.7%	+6.2%	7,306	+19.7%	▲1.9%	12,997	+2.3%	+1.5%
その他製品	1,313	1,306	2,619	1,139	▲13.3%	+11.7%	1,248	▲4.4%	+3.3%	2,387	▲8.9%	+7.2%

(単位：百万円)

■ 主要 3 製品 ■ その他製品



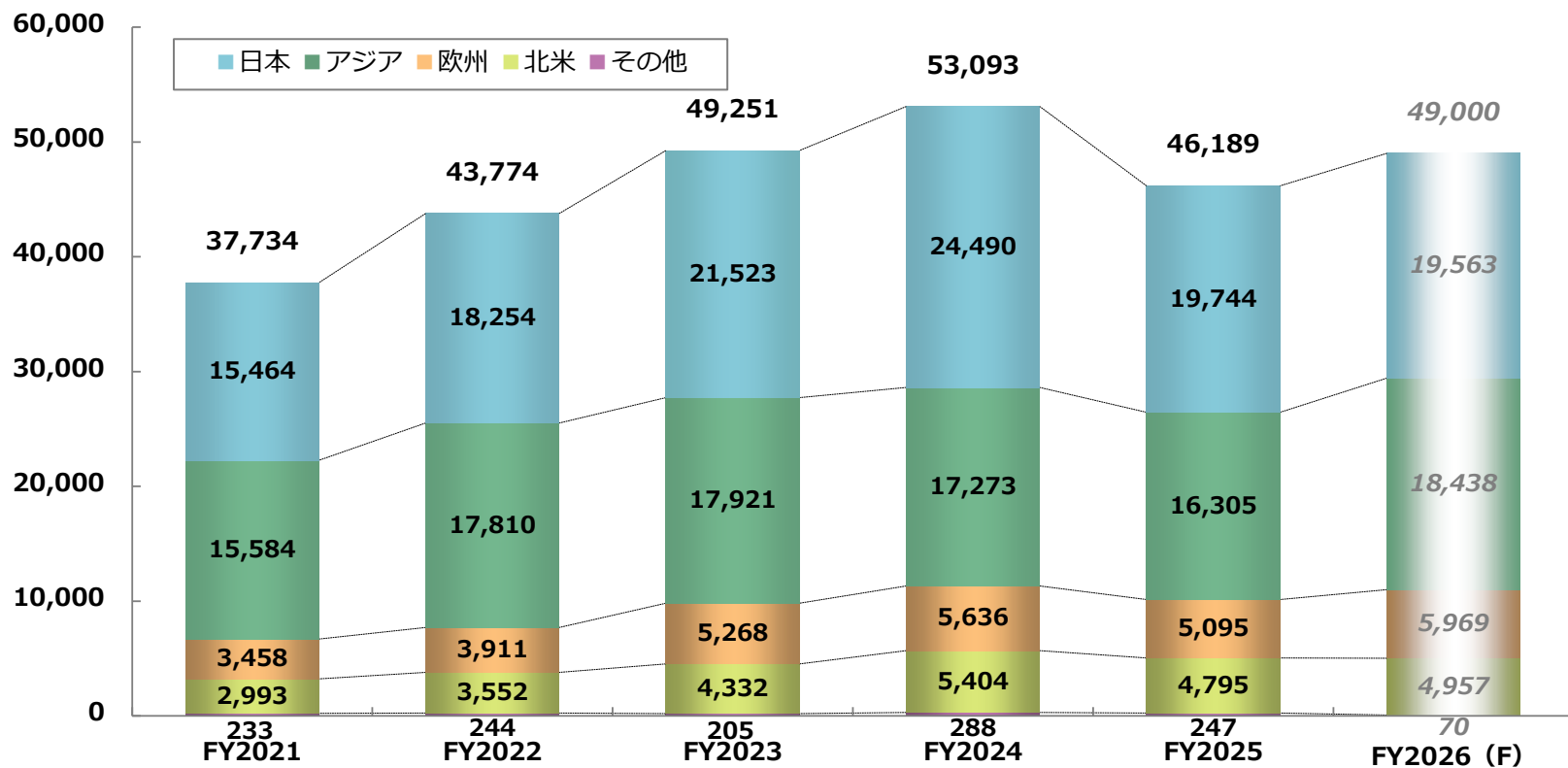
【主要 3 製品】

- ・ Siエピタキシャル用途では堅調な需要が継続。SiCエピタキシャル用途は、市場回復の兆しが見え始めているものの、需要は依然低水準で、SiCコーティング黒鉛製品全体としては、前期比減となる見込み。
- ・ C/Cコンポジット製品は、工業炉用・半導体用とも力強い需要が見込まれ、前期比増。
- ・ 黒鉛シート製品は、冶金用が増加する他、半導体用や自動車用も堅調で、前期比増。

5. 地域別売上高

✓ アジア・欧州を中心に需要回復を見込む

(単位：百万円)

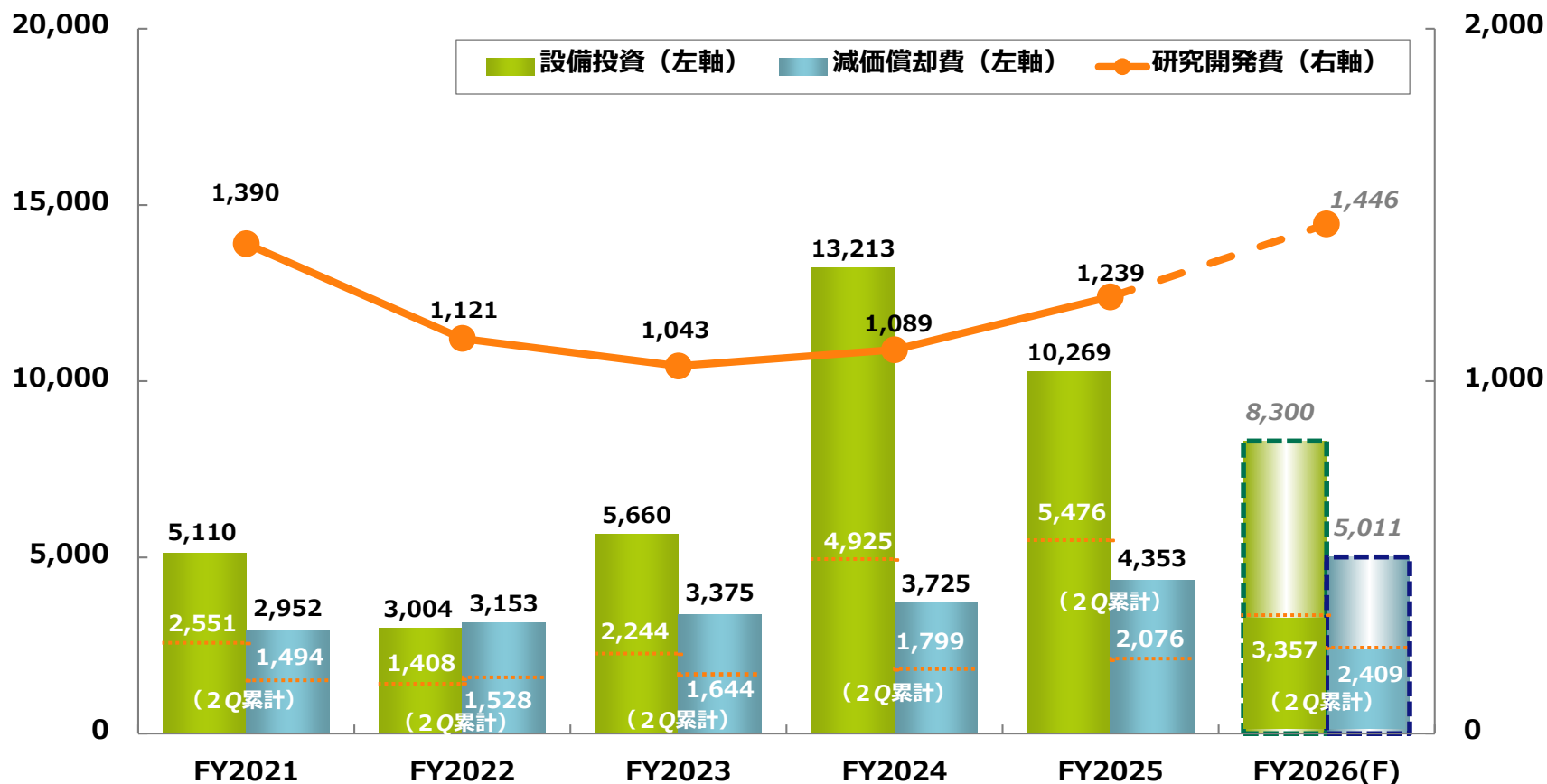


6. 設備投資・減価償却費・研究開発費

✓ 高純度化やコーティング（SiC・TaC）等の設備投資は概ね計画どおり進捗

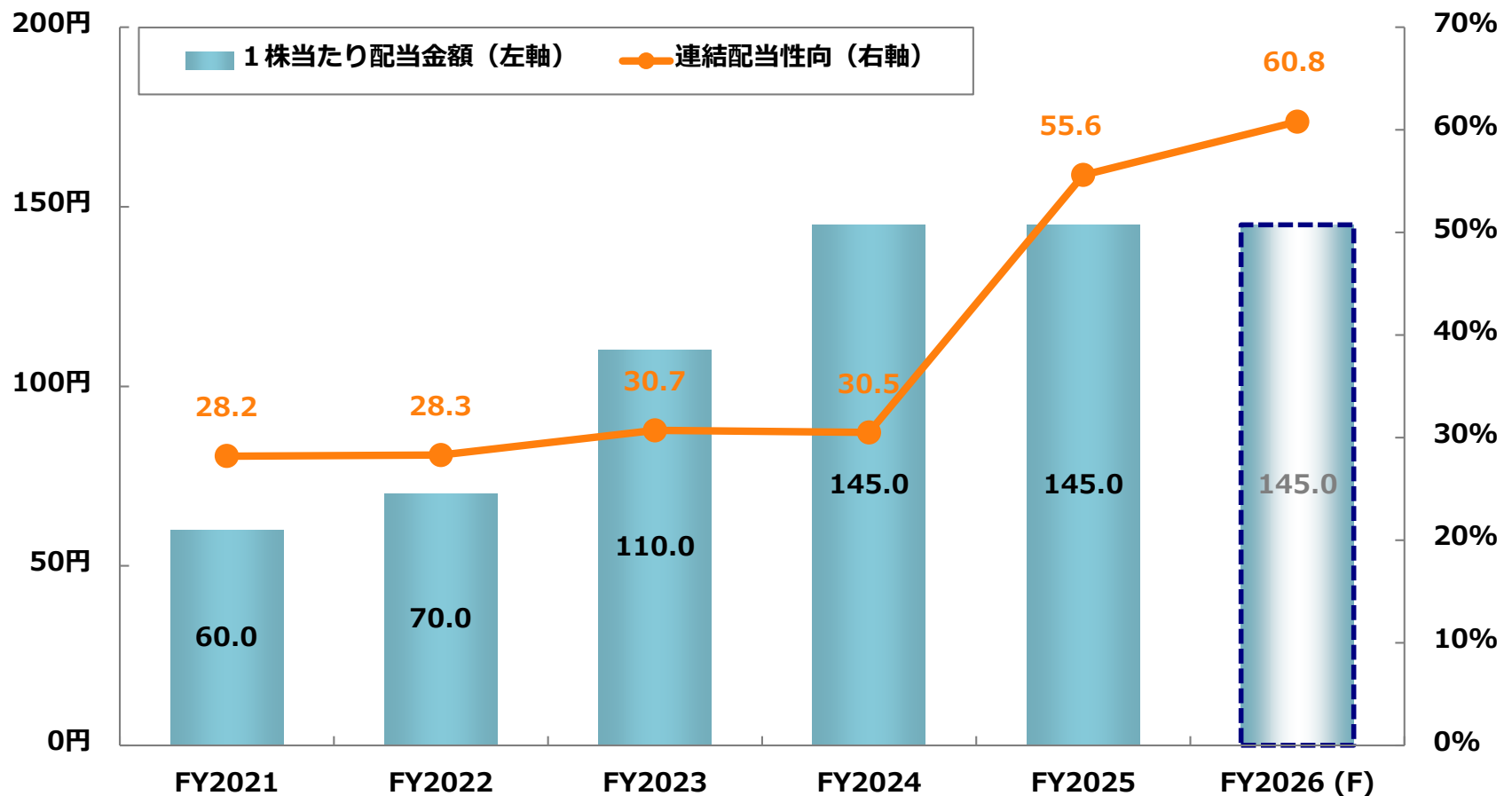
(単位：百万円)

(単位：百万円)



7. 株主還元

- ✓ 安定性も重視し、配当金額は前期と同額を維持
これにより配当性向は40%の基準を大幅に上回る60.8%に





(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

<お問合せ先>

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 050-3097-4950(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp